

2019.5.3-4

FUJI

Round

02

qualify



## 苦手な富士に苦しんだものの Q1を突破し予選12位を獲得



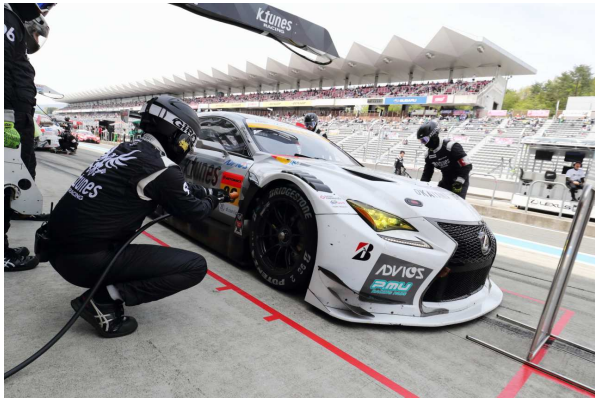
開幕戦優勝という大きな成果を引っさげて、K-tunes Racingは第2戦の舞台である富士スピードウェイに乗り込みました。ゴールデンウィーク恒例の富士は、5月3日(金)予選、5月4日(日)決勝レースというスケジュールで、それだけに最も多くのファンが集まるレースです。実際、まだ予選だというのに、富士スピードウェイには、まるで決勝レースかというほどの観客が集まりました。

優勝したものの、周回数から獲得ポイントは半分となり、結果としてウエイトハンデも半分。つまり、通常の優勝よりも、パフォーマンスダウンは小さいということになります。

しかしRC F GT3と富士スピードウェイの相性は良くありません。タイトコーナーが続くコース後半では軽量なマシンが有利で、低速からの立ち上がりではパワフルなターボが有利。つまりRC F GT3には不利だ、ということなのです。

さまざまな特性のマシンが戦うGT300クラスでは、そうした得手不得手が出て来ます。それも面白さのひとつです。





予選Q1、今回は阪口晴南選手が担当しました。開幕戦の予選Q2で2位を獲得した速さで、エントリーした29台の中で16位以内が必要となる予選Q1突破を狙いました。やや遅めにコースインした阪口晴南選手は、1分37秒479をマーク。その時点では12位でしたが、予選終了間近にタイムアップするマシンが何台もあり、96号車のポジションが落ちていきます。そして、ついに16位となった時、予選が終了。2戦連続、ギリギリのQ1突破を果たしました。(1台のマシンがペナルティを受け、最終的に15位へと繰り上がった)

マシンのセッティングをアジャストし、ベテラン新田守男選手が予選Q2へ。やはりタイムはライバル達と戦うには十分な速さではありません。結果は13位。ここでも他車のペナルティがあり、12位へと繰り上がりました。

ペースだけを考えると苦しいレース展開が予想されます。しかし500kmという長丁場、10位以内でポイントゲットを狙うには十分な可能性が残されています。

## 2019 AUTOBACS SUPER GT Round2 FUJI GT 500km RACE

富士スピードウェイ

2019年5月3日 天候：晴れ 路面：Dry

### qualify

Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	56	リアライズ日産自動車大学校GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平峰 一貴 サッシャ・フェネストラズ	1'36.696	1'35.871	YH	6
2	25	HOPPY 86 MC TOYOTA 86 MC / GTA V8	松井 孝允 / 佐藤 公哉 土屋 武士	1'36.724	1'36.069	YH	
3	5	ADVICS マツハ車検 86MC マツハ号 TOYOTA 86 MC / GTA V8	坂口 夏月 / 平木 湧也 玉中 哲二	1'36.834	1'36.080	YH	
4	11	GAINER TANAX GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平中 克幸 安田 裕信	1'37.487	1'36.501	DL	
12	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	1'37.479	1'37.389	BS	20

## 監督・選手コメント



Team Director  
影山正彦

予選結果については、ある程度想定していました。ドライバーは2人とも、しっかり走ってくれたと思います。決勝レースは500kmの長丁場ですし、シングルを目指して望みたいと思います。



Driver  
阪口晴南

何とかQ1を突破できて嬉しかったです。路面温度が上がり、自分たちにとっては辛い状況になっていたのは間違いないですね。レースは混戦だと思うので、しっかり走り切りたいと思います。

